

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【481】

2. 日時：令和5年5月17日 10時00分～10時35分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、中村主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、
府川安全審査官、谷口技術参与※、三浦技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（電源土木） 他4名

電源事業本部 耐震設計土木グループ 担当副長 他3名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力土建部 設計管理グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力建築室 担当※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁のハツリです。
0:00:03	ただいまから島根原子力発電所 2 号機、設工認についてヒアリングを開始いたします。
0:00:10	本日の議題は、
0:00:11	地下水位低下設備のコメント回答になりますがよろしいでしょうか。
0:00:17	はい。中国電力の高松です。おっしゃった通りで地下水位低下設備、敷地側集水柵のコメント回答になります。よろしくお願ひします。
0:00:27	規制庁の服部です。それでは本日の資料の確認と、資料の説明の進め方について、説明をお願いします。どうぞ。
0:00:38	はい。中国電力の高松です。それでは資料の確認からさせていただきます。資料番号ですが、N-Sに他、318、簡易の 04 ということで回答整理表です。こちら一番をお願いします。
0:00:55	はい。続きましてN-Sに、編に、019、07、赤井の 03 ということでこちら計算書ですね、こちら 2 番をお願いします。
0:01:07	はい。続きましてN-Sに補 023A-12 回の 05 ということでこちら補足説明資料 3 番をお願いします。
0:01:18	いずれも提出日は 5 月の 11 日になります。
0:01:22	はい。資料は以上になりまして、本日の進め方ですが、前回 7 月の 19 日にこちらご説明させていただきまして四つコメントをいただいております、
0:01:33	主には、水道施設設計指針ベースでの再設計ですね再評価をして参りましたのでそれを 1 問 1 等でご回答させていただきますよろしいでしょうか。
0:01:45	規制庁のハツリですはいわかりましたよろしくお願ひします。それでは説明を始めてください。どうぞ。
0:01:51	はい。それでは説明はサダタニの方からさせていただきます。
0:01:56	はい。中国電力のサダタニです私の方から地下水位低下設備の関係の耐震計算書についてコメント回答させていただきます。
0:02:06	まず資料ナンバー1-1 ページをお願いいたします。
0:02:09	こちら回答整理表でございますこちらのコメントナンバーまず七、八についてご回答いたします。
0:02:18	まず、コメントNo. 7 の内容を読み上げますと、敷地側集水ます括弧側壁の鉛直方向のモデルについて水道施設設計指針に基づいたモデル化でなく、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:29	壁部材のみのビーム要素としている妥当性を説明することといただいております。
0:02:34	No.8 につきましては、水平断面のモデルを水道施設設計指針に基づいていない理由及び敷地が集水柵の開口部の影響について設計にどのように考慮しているのかを説明すること。
0:02:48	といただいております。回答につきましては、こちらの回答欄にお示しの通りですが、敷地が集水します。
0:02:57	過去側壁の鉛直方向及び水平、
0:03:01	断面について、水道施設設計指針、
0:03:05	に基づきモデル化することといたしました。なお水道施設設計指針におきまして、耐震設計の詳細につきましては、水道施設耐震工法指針解説、
0:03:17	によるものとされておりますので詳細につきましては、水道施設耐震工法指針、
0:03:23	に従って実施いたしました。
0:03:26	またコンクリート標準示方書設計編 2012 に基づきまして、所要の鉄筋量を満足するように開口補強金を配置いたしましたので、
0:03:37	開口部につきましては、開口部以外の断面の諸元と同様といたしました。
0:03:44	資料ナンバー3 の補足説明資料。
0:03:48	通しページの 22 ページをお願いいたします。
0:03:58	こちらに具体的な
0:04:02	モデル化の方法を記載させていただいております。
0:04:05	4 ポツ 1 のところで、側壁を線形はり要素でモデル化し、1 次元地震応答解析を踏まえて設定した荷重を作用させフレーム解析を実施しております。
0:04:16	フレーム解析は鉛直断面及び水平断面に分けて実施いたします。水平断面位置は水道施設耐震工法指針に基づきまして、常時の動圧作用が最大となる修正松坂部を調査断面位置といたしました。
0:04:31	また、
0:04:33	側壁部には開口が存在しますが先ほど申し上げました通り、コンクリート標準示方書に基づきまして開口部以外の断面と同様の諸元を設定いたしました。
0:04:44	鉛直断面のフレーム解析に用いる地盤ばねは、道路教授報償に示される地盤反力係数をもとに設定いたしました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:52	水平断面のフレーム解析におきましては地盤ばねは設定せず水道施設耐震工法指針に示される支持条件といたしました。
0:05:01	続きまして通しページの 23 ページをお願いいたします。
0:05:07	こちらにフレーム解析に用いました地盤ばね定数と断面諸元をお示しております。
0:05:14	続きまして 24 ページをお願いします。
0:05:19	こちらにフレーム解析のモデル図、鉛直方向及び水平方向のものをお示しております。
0:05:28	続いて、26 ページをお願いいたします。
0:05:32	こちらから 29 ページにかけましてフレームモデルを変更した後の調査結果を載せてございます。
0:05:42	すべての検討ケースで発生断面力が 9 限界以下となることを確認いたしました。
0:05:47	コメントNo.七、八についての回答は以上になります。
0:05:53	規制庁の服部です。はい。
0:05:55	ただいまの 7 番と 8 番のコメント本、コメント回答 7 番 8 番につきましてモデル化の考え方については、承知をいたしました。
0:06:06	と言って何点か確認をさせていただきたいと思います。
0:06:09	まず、荷重のかけ方がー
0:06:12	1 次元のところ、
0:06:15	20 ページとか、そこら辺に何か荷重のようなものを書いてあるんですけど、具体的にどういうふうな荷重をかけているかというのが、
0:06:24	評価方法の方で見えないんですけども、
0:06:27	この荷重については具体的にどのようにかけていますか。
0:06:35	はい。中国電力のサダタニです。
0:06:39	基本的には水道施設耐震工法指針に示された通りの荷重をかけてございまして、その具体的な内容につきましては補足説明書、資料ナンバー3 の通しページ 13 ページ。
0:06:51	に、詳しく書かせていただいております、
0:06:56	こちらの表 3、
0:06:59	1 の(2)荷重の組み合わせのところ、モデル、
0:07:04	側壁のところ書かせていただいておりますところで静止度圧、外水圧内水圧、積雪荷重を常時荷重としては考慮しております。
0:07:16	地震荷重としましては、水平地震動、
0:07:20	動水圧、地震時動圧、これらを考慮してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:27	今回の荷重のかけ方で、当社として保守的な見方をしたところが地震荷重のところ、水平地震動と動水圧、
0:07:38	と、地震時動圧につきましては水平地震動どうせやつは本来は地震時動圧とは抗力になる側に荷重が作用するようになるんですが実現象としましては、
0:07:51	保守的な荷重設定となりますように水平地震動と動水圧を、地震時動圧と同じ方向にかけるといったような荷重設定を今回させていただきます。
0:08:02	以上です。
0:08:05	規制庁の服部ですわかりました。ちょっともう少し具体的に確認するんですけど、
0:08:09	まず、24 ページの、
0:08:13	モデル図に於いて、
0:08:15	鉛直方向の、
0:08:17	その水平、地震時荷重というのは、
0:08:20	強制変位、
0:08:22	を使ってるんでしょうか。
0:08:27	はい。中国電力のサダタニです地震時ドウツウにつきましては先ほど羽鳥さんがおっしゃられた強制変位を用いた荷重を設定させていただきます。
0:08:38	その具体的な設定の仕方が、資料ナンバー3 の 15 ページ。
0:08:44	のところ、
0:08:45	ですね。
0:08:48	こちら、(7)地震時動圧ということで書かせていただいているんですけど、
0:08:53	側壁鉛直断面に作用させる地震自動通話対し、水道耐震制度施設耐震工法指針に基づきまして、
0:09:02	閉す。
0:09:04	側壁の前面の地盤ばね掛ける、
0:09:08	1次元事象と解析から出てきます、地盤の底盤中心からの相対変位、
0:09:15	をかけまして、地盤変位による荷重というものを高さ方向でそれぞれ設定しております。
0:09:23	以上です。
0:09:25	規制庁の服部です戸田カラー
0:09:28	鉛直方向の下アノス地震力については、20 ページにある、
0:09:33	SDの、
0:09:36	相対変位を、
0:09:38	24 ページ鉛直方向の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:41	バネの右側の接点に強制変位として入れて、
0:09:45	荷重として作用させるようにしてる。
0:09:48	それに加えて、
0:09:53	躯体の慣性力とかも見ている。
0:09:56	ということでよろしいですか。
0:09:59	中国電力のサダタニですご認識の通りでございます。以上です。規制庁の服部ですわかりました。
0:10:06	そこら辺はちょっと何か少しわかりにくい感じもしますが、まああの、まあそうだろうなということで理解をしましたんで、ちょっとわかりにくかったのは、水平の荷重なんですけど、
0:10:18	最も上自動圧が大きくなる底盤ところってのは大体わかるんですけどその時の荷重というのが15ページにある。
0:10:27	真ん中辺、
0:10:28	WR=っていうことになってるんですけど、
0:10:32	これは、
0:10:34	どんな荷重になるんですか。
0:10:41	一般的に地震時動圧を静的に考える等、物部岡部とか、それもあるように、下の方、低迷一番底盤側が、地震時導通が大きくなるような動圧になって、
0:10:57	たりもするんですけど、
0:10:58	このWRの式だと、そういうふうになっているのかー。
0:11:03	そこら辺がちょっと具体的にどういう荷重をかけてるのが見えないんですが、そこら辺の説明はいかがですか。
0:11:12	はい中国電力の佐田です。
0:11:17	ドアツーツににつきまして静止度圧の方につきましては明らかに底板の部分一番修正マツノ。
0:11:26	C、深度が深くなる部分で大きくなる。
0:11:30	ということと、このWRは、
0:11:34	地震時、地震が起きたときに地盤、
0:11:38	下の行政変位によって生じる力を、こちら水道施設耐震工法指針に従って、
0:11:48	出したものとなってございます。
0:11:52	以上です。規制庁のハツトリ図なので、
0:11:58	強制変位としては一番下が0で、相対変位としては0で上に行くほど大きくなっていく。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:04	というのを荷重に置き換えると、逆に、だんだん下に向かって大きくなっていくというようなイメージでいい考えればよろしいですか。
0:12:14	具体的にどういう荷重を持ってきて、
0:12:18	かけてるのかっていうのがこの資料から見えないのでは、アノ式はわかっているけどこれが水道施設に、この式が載ってるっていうのを理解してるんですけど。
0:12:27	先ほどの強制変位もそうなんですけど、
0:12:31	できれば、これは記載だけなんですけど、24 ページの後に、どういうふうな荷重をかけているか。
0:12:39	水平変位、
0:12:41	イメージとしては、
0:12:46	ちょっと特に水辺水平方向の方がわからなかったんですけどイメージとしては、16 ページにあるようなこういう荷重、
0:12:53	ズー。
0:12:54	なんだろうなっていうのはわかるんですけど、水平方向にどういう荷重をかけているか特に、
0:12:59	地震時動圧をどういうふうに取り扱っているのかというのがわかるような、資料をつけていただければわかりやすいと思うんですがいかがでしょうか。
0:13:09	はい。中国電力の高松です。ご指摘いただいた通りですね、鉛直方向について荷重の檀荷重図ノダアノ概念図がお示しできている一方で、鉛直方向の断面については、
0:13:22	アノ方向荷重の作用方向も含めてですねそういったのがまだズー化できてないので、そこはちょっとこの地震時動圧、もう含めてですね、図示してですね、何らかの
0:13:34	ご説明できるように、ちょっと工夫したいなと、拡充を図りたいなと思います。以上。
0:13:39	規制庁のハットリそうですねなので、
0:13:41	例えばドアツーなら十時発の鉛直方向の、
0:13:46	門の概念図があってその一番下の三角形の一番大きいところを持ってきて、水平にかけてますよ、地震時動圧はどういうふうにかけてるんですかっていうのが何となくわかるような
0:13:58	荷重図というか、そういうようなものを記載として対への拡充していただければと思いますのでよろしくお願いいたします。
0:14:07	はい。中国電力の高松です。鉛直断、すす。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:14	鉛直断面ですね。
0:14:16	そ、
0:14:20	側壁、鉛直断面ですかね、こちらの荷重図の概念図の挿入について、承知しました。以上です。
0:14:27	規制庁の服部です。ですので考え方、やり方については了解しましたので、私の方は、天田ですね。他に。
0:14:37	コメント番号 7 番 8 番で確認する方をお願いします。
0:14:45	規制庁のミウラです。
0:14:48	ちょっと少し確認をさせてください。
0:14:50	まず一体今ノー。
0:14:53	水平方向の地震動す。これは
0:14:56	あれですよね地盤の変位等、等、構造物の変位、この変質から出てくる力なので、
0:15:04	深いほうが大きいってことは特にはないですよ、地盤構成との。
0:15:08	コントラスが出てくるので、そういう理解でいいですか。
0:15:13	はい。方向が、そう。
0:15:18	ちょっとね、
0:15:23	はあ。
0:15:25	はい、そうです。
0:15:27	中国電力のサダタニサノご認識の通りでございますがちょっとこの資料上わかりづらいちょっと構成となっておりますのでわかるようにちょっと記載をさせていただきます。はい。ありがとうございます後、資料 3 の 22 ページGんで、
0:15:42	ここの、
0:15:43	開口が存在しますがっていう、側壁の部分なんですけど、
0:15:49	これの意味っていうのは、開口の思いにかかわらず、前段も有効とした応力解析を行って、
0:15:57	全断面有効とした断面調査を行います。
0:16:01	それから出てくる所要鉄筋量を確保できるように、案内開口で切れてしまう部分はその周りに鉄筋を配置するという意味ですね。
0:16:13	はい。中国電力のサダタニさんのご認識の通りでございます。それと、そうすると、これ、結果的には、開口によって鉛直方向の定検と水平方向の鉄筋切れるわけですね。
0:16:27	だからほぼその嫌いな部分を周辺周りに補強してるってもののイメージにほとんど近くなるって理解でいいですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:35	はい。中国電力の佐竹です。その通りでございます。以上です。その時2、補強としていろいろ開口補強っていうのはどの位置に入れられるんですか。
0:16:46	断面の真ん中、要するに、何ていうか外金と内金の間に入れてこられるのか、間を何とか200万の200万その割合を割り込むのか。
0:16:57	ちょっとどういう方針で配筋、解雇補給金られるのかちょっと説明してください。はい。中国電力のサダタニです。図を見ていただきながらわかりやすいと思うんですが、
0:17:14	これが、
0:17:15	資料ナンバー3の通しページの6ページ。
0:17:20	をお願いいたします。
0:17:22	こちら、断面で、
0:17:26	ヒガシもしくは西からこの増尾三田形でこの
0:17:31	点線で書いてある部分が開口になるんですけども、
0:17:34	この側壁に対して、この開口が開くことによって、欠損、ここの部分に配置できなくなる鉄筋を、
0:17:46	もう直角方向の側壁もこちら書いてありますけど壁厚。
0:17:52	逆で書いてある部分ですねそこ。
0:17:54	の、内側の部分から、開口の外づらの部分までのところの中に、欠損した
0:18:04	鉄筋断面積を補うような形になるような形で開渠開口補強金を配置しようと計画しております以上です。ちょっと内側の部分っていう説明わからなかったんですけど、
0:18:15	藤委員、真ん中にあるってこと。
0:18:18	要するに外側鉄筋と内側鉄筋の間に開口競技出てくるんですか。意外とスペーシングがね、ちょっと気になったのはこれ世界のスペースが少ないんでね、例えばA断面見ると、
0:18:29	開口補強を入れる文書ってあまりない絵ですよ。でその分に切られた分を入れてくるとなると、意外と大変かなって気がしたんですけど。
0:18:38	はい。中国電力の高松です。ご指摘の通りですね、今回我々もうそ一番考えたところでして、実際にカテキンを例に申しますと、ご指摘いただいた通りですね、25の、200、
0:18:54	25の250ピッチになりますので、欠損する本数がす。次、具体的には8本あります。この8本をですね、両サイドに再配置することを基本に考えました。なので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:07	254 本 4 本両サイドに配置するということになりますんで、D254 をそのままそこに入れようとする、ご指摘の通り空気が確保できないと。
0:19:18	ということになりますので、コンクリート標準示方書の考え方に基づいて、必要鉄筋量でカバーするっていうふうな考え方がございますんで、25 の当間
0:19:31	4 本分にあたる鉄筋量を置き換えますと、38 が日本に当たります。なのでこの 38 日本をですね、片側サイドに配置するということで、
0:19:42	欠損しないのがもともと 251 本分ございますので、その 25 一本等で 38 日本が、この隙間の間に必要な空気を確保して配置されるということで、
0:19:53	今計画しているところでございます。以上です。わかりました。
0:19:58	結局だからあれですね。ちょっと水が入りにくいんで、38 に置き換えちゃって、日本に置き換えてるってことなんですね。
0:20:06	はい。中国電力の高松です。おっしゃっていただいた通りです。以上です。わかりました。私からの事実確認は以上ですはい。
0:20:15	規制庁の服部です他にあればお願いします。
0:20:25	私もですねその開口部のところやっぱりちょっと気になったりしてて、今説明を受けたんで、大体の状況はわかったんですけどやっぱりこれ、何か図か何かつけないですか。
0:20:37	てのは今、
0:20:40	通し番号で言うと 7 ページにダンメン入ってますけどやっぱりちょっとその変更。
0:20:46	皆さんの認識を統一するためにも、本来 B 断面と、
0:20:51	妻になってるっていうんですかね、その断面の補強の鉄筋の、
0:20:56	配筋図があったら、もう一番わかりやすいですね。いかがでしょうか。
0:21:01	はい。中国電力の高松ですご指摘いただいた通りだと思いますんで、我々もちょっとそこを図化するかなというところも考えたんですけど、実際これ、
0:21:12	がですね、現地のこれから施工段階に引き継いだ時に、基本的な思想は今私が申しました通りですけど、現地の状況に応じて、施工方法によって微妙に変えるような要素も出てくるかなと思ひまして、
0:21:24	お示しするとしたらですね、例えば概念図であったりとかですね、破碎配置のイメージであったりとかですね、ちょっとそういった表記の仕方をちょっと工夫させていただいて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:36	これが実施工の配筋図に直結っていうことはちょっとなかなか確約は難しいかなと思うんで、ちょっとその表記の仕方は工夫させていただきますけど、何らか
0:21:46	考え方をお伝えできるようにお示したいと思います。以上です。
0:22:29	他の中国電力の高松です今皆さんにご意見いただいたのを踏まえて、仲村さん、皆さんにご意見いただいたのを踏まえて、ちょっと記載方法を工夫したいと思います。何らか意思表示をさせていただきます。以上です。
0:22:42	はい。規制庁仲村ですけども。わかりました。よろしく願います。私からは以上です。
0:22:54	規制庁の服部です他タニグチさんはよろしいでしょうか。
0:22:58	はいタニグチです。基本的に今中原さんと皆さんがお話しされたものが解決つけばいいのかなと思います。よろしく願います。それ以外は結構です。
0:23:10	規制庁のハツリですはいわかりました。
0:23:13	ではモデル化の考え方等、開口の考え方、土木的に開口補強金は切れた本数を横に入れるという考え方で、もう
0:23:25	小規模構造物ですけどね大きな構造物は意外と開口を考慮して設計したりするんですけどこのような構造物はそういうふうに設計するのが一般的だと思ってますので、梁。
0:23:36	了解としたいと思います。ですので、一応コメント番号7と8番については、了解ということにして、あと、記載の拡充ということで荷重の考え方を拡充していただければと思いますがよろしいでしょうか。
0:23:51	はい。中国電力の高松です。ご指摘適正化の趣旨は承知しましたので、拡充して資料化したいと思います。以上です。
0:23:59	規制庁の服部です。わかりました。では次の説明をお願いしますどうぞ。
0:24:05	はい。中国電力の佐田です。続きましてコメントNo. 9、資料の一番の1ページのところを回答いたします。内容を読み上げますと、
0:24:17	敷地側集水枡の底盤に作用する荷重の差異化方法の考え方について説明すること。
0:24:24	といただいております。こちら回答ですけども、修正松底盤に作用する荷重として、常時荷重としましては、集水枡の自重、
0:24:34	蓋の荷重外水圧内水圧及び積雪荷重を、
0:24:40	地震荷重としましては、集水枡自重による鉛直地震動、慣性力、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:46	ですね、及びない水の増水圧を考慮していることを明記いたしました。
0:24:52	具体的には資料ナンバー3の、
0:24:56	16ページをお願いいたします。
0:25:03	こちらの図3-1に、具体的に作用させております荷重の概念図を記載させていただきます。
0:25:12	こちらの回答は以上になります。
0:25:16	規制庁の服部ですはい。回答の方は、わかりました。
0:25:21	少し内容について確認をさせていただきたいと思いますこれ私がかちょっと確認したかった点なんですけど、
0:25:28	今の荷重のかけ方だと、
0:25:31	結局あれですよね底盤に作用する力って、
0:25:35	鉛直方向の荷重だけで、
0:25:38	内側からかける荷重の差分、
0:25:43	なので、
0:25:44	基本的には、
0:25:48	地盤反力が一。
0:25:50	頭分布荷重になる。
0:25:52	というふうな認識をしています。
0:25:55	ただ一般的に、
0:25:57	こういう箱型構造物は大きなものになると、
0:26:02	原子炉建屋も同じようなものだと思うんですけど、規模全然違いますけどね。
0:26:07	一般的にす。地震時の地盤反力って、
0:26:12	台形分布力ー三角形部分になるという、こういう一般的な認識があるんですけど、
0:26:19	これ水平力による、その影響っていうのわあ、
0:26:23	この底盤の設計をする時に考慮しないんでしょうか。
0:26:32	中国電力のサダタニです。答えから言うと今回のこの底盤のモデルにおいてはちょっと水平の方は考慮していないというものになってます。
0:26:43	4. 固定版として、底盤に発生する断面力を、
0:26:48	出そうとしておりますんで、等々分布荷重が幾らかというところと、底盤の形状によって定まってくる、その曲げモーメントとせん断力を出すことによって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:59	底盤の評価を今回してございます。ただ水道指針せ、施設耐震工法指針に基づきますと、底盤の評価というのは、特に立坑の設計がなされておらず、
0:27:12	こちらの評価につきましては、センコーさんでは先行サイトでやっておりますのであくまで参考としておつけしたような位置付けになってございます以上です。
0:27:32	規制庁の服部です。センコーも同じような評価の仕方をしているということでしょうか。
0:27:40	中国電力のサダタニですご認識の通りでございます以上です。規制庁のハツリですはいわかりました。
0:28:46	規制庁のハツリです他に、9番について確認する点がある方お願いします。
0:28:51	よろしいでしょうか。
0:28:53	ではコメント番号9番については了解いたします。では次の説明をお願いしますどうぞ。はい。中国電力のサダタニです。最後に、コメントNo.10についてご回答いたします。資料ナンバー1の、
0:29:07	1ページの10番のところで内容を読み上げますと、
0:29:11	1次元の応答解析モデル化及び水平変位について、改良地盤ではなく、MMRを用いることの根拠を説明することといただいております。
0:29:22	こちら回答としましては、
0:29:24	敷地が集水柵の側壁4面、
0:29:28	のうち3面は、MMRに一面は改良地盤に囲まれておりますが、
0:29:35	1次元の地震応答解析におきまして、修正ます底盤中心と、
0:29:39	上段の相対変位を保守的に評価できるように、4面が改良地盤に囲まれているものとし、地盤の物性値にMMRではなく、改良地盤の値を用いることといたしました。
0:29:51	資料No. 3をA3の通しページの18ページ。
0:29:58	をお願いいたします。
0:30:03	こちらの、18ページの1段落目の最後のところに記載させていただいておりますが集水柵周辺の10番は、改良地盤、③としてモデル化しております。
0:30:15	続いて19ページをお願いいたします。
0:30:19	図3-2の1次元事象と解析を地盤モデルということで、
0:30:25	敷地が集水柵位置の地盤モデルをお示してありますところのエレベーション8.5メートルからエレベーション-0.2メートルのところ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:35	こちらのもととMMRとしておりましたところを、改良地盤 03 に変更させていただきます。
0:30:42	説明、説明は以上になります。
0:30:47	規制庁のハツリですはい、わかりました。説明は
0:30:52	わかりました。わかりましたというか承知をいたしました。
0:30:57	ちなみに、これあれですかね、
0:31:01	周りがコンクリートD棟、地盤改良で囲まれてるっていうのは、
0:31:08	33 ページあたり、どこを見ればわかるんでしょうか。
0:31:21	中国電力のサダタニです資料No. 3 の通しページ 8 ページ。
0:31:27	のところで、
0:31:28	へえ。
0:31:29	書かせていただいております。ただこれ、
0:31:33	あと 3 面が改良地盤で囲まれ、
0:31:38	MMRで囲まれているということが、
0:31:42	ごめんなさい。
0:31:44	このページよりも 45 名、通しページ 40 ページのところ、3 年間、
0:31:51	囲まれているのが、
0:31:56	40 ページの図 3-1 のところですね、こちらの左側の方でお示しさせていただきます以上です。
0:32:05	規制庁の服部です。はい確認しました。
0:32:08	この
0:32:10	コメント番号番号 10 番について、他に確認される方いらっしゃいます。
0:32:24	はい、おっしゃる通りです。以上です。
0:32:34	規制庁のハツリです。他よろしいでしょうか。
0:32:38	はい。それでは私もそれで
0:32:43	あまりMMRに、
0:32:46	三面囲まれていて、
0:32:48	片側が地盤改良ですので、地盤改良として評価するということで、私もいいと思いますので、
0:32:55	コメント番号 10 番については了解いたします。
0:32:59	では次の説明をお願いします。
0:33:07	中国電力の佐田エンジニアのコメント回答につきましては以上でございます、適正化につきましても、
0:33:14	説明途中は特にございませんのでこちらから説明は以上になります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:21	規制庁の服部ですはい説明は以上ということわかりました。それでは本日の資料全体について確認される方おられればお願いしますどうぞ。
0:33:38	よろしいでしょうか。
0:33:40	はい。
0:33:42	特に規制庁側から、他に確認する点がないようですので、中国電力側から何か、
0:33:50	あればお願いします。はい。中国電力の高松です。弊社側からもございません。以上です。規制庁の服部ですはい。それでは本日のヒアリングを終了いたします。どうもありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。